

4 . 市民ニーズ

文化芸術活動の推進や新たな文化交流拠点施設に対する市民のニーズについて、「各種団体に対するアンケート調査」(平成 25 年 11 月実施)や「ヒアリング調査」(平成 26 年 2 月実施)により確認したほか、新たな文化交流拠点施設は「さまざまな交流やにぎわいの創出」を整備目標としていることから、「我孫子市の観光に関するアンケート調査」(平成 24 年 8 月実施)により、観光・レジャーに関する市民や首都圏住民のニーズを確認しました。

(1)各種団体に対するアンケート調査・ヒアリング調査の結果

市民団体の新たな文化交流拠点施設に対するニーズを把握することを目的に、52 の市民団体を対象にアンケートを実施し、旧市民会館の閉鎖による影響や新たな文化交流拠点施設に関する意見を聞いたところ、次のような結果となりました。

また、アンケート実施後、一部の市民団体にはヒアリングを実施しましたので、その結果についても以下に記載します。

アンケートの詳細については、「資料編」(12 ページ)参照。

【調査結果の概要】

1 . 旧市民会館 () の利用実績

旧市民会館の主要施設：大ホール(定員 1,000 人)、大会議室(定員 210 人)、会議室

旧市民会館の大ホールは音楽団体による利用が多かった。

- ・旧市民会館の大ホールを比較的多く(「年 3 回以上」)利用していた団体は 23 団体(回答団体の 50.0%)あり、活動分野別にみると、この 23 団体のうち 19 団体が音楽団体であった。
- ・大ホールの平均来館者数が「801 人以上」であったとする団体が 10 団体あったが、このうち 8 団体は音楽団体であった。

2 . 旧市民会館閉鎖の影響

旧市民会館の閉鎖後、代替施設として「けやきプラザ(ふれあいホール：定員 550 人)」を利用したとする団体が音楽団体を中心に多かったが、代替施設は狭く、来場者数も減少したとする回答が目立った。

- ・旧市民会館の閉鎖による影響は、「代替施設狭隘・来場者数減少」とする回答が音楽団体を中心に 14 団体と最も多かった。
- ・旧市民会館の閉鎖後の対応としては、代替施設として「けやきプラザ(ふれあいホール)」を利用したとする回答が音楽団体を中心に 13 団体と最も多かった。

ヒアリングでの意見

「市内の公民館や近隣センターは混んでいるところが多く、活動場所の確保が困難である」

3. 新たな文化交流拠点施設に求める機能

新たな文化交流拠点施設に求める機能としては、活動分野に関わらず利用する機能(「楽屋・控室」、「リハーサル室・練習室」)や文化交流拠点施設の主要機能であるホール(「音楽ホール」、「多目的ホール」)を挙げる団体が多かった。

・新たな文化交流拠点施設にあれば良いと思う機能を聞いたところ、「音楽ホール」(63.0%)が多く、「会議室」(50.0%)、「多目的ホール」(47.8%)が続いている。また、音楽ホールなどに付随する「楽屋・控室」(69.6%)や「リハーサル室・練習室」(65.2%)は、音楽ホールを希望する場合も多目的ホールを希望する場合も選ばれており多くなっている。

4. ホールの規模

新たな文化交流拠点施設に求められるホールの規模(定員)は、音楽団体を中心に「800人以上」とする回答が6割弱を占めた。

・新たな文化交流拠点施設に求められるホールの規模は、「800人以上1,000人未満」とする回答が2割強、「1,000人以上」が3割強となっている。
・「800人以上」と回答した21団体のうち15団体は、旧市民会館での来場者数が相対的に多かった音楽団体であった。

ヒアリングでの意見

「大ホールを備えた新たな文化交流拠点施設ができれば、より大規模なコンサートを実施できるなど、文化団体の活動の幅が広がる」

「ホールが複数ある大規模な施設ができれば各ホールのイベントへの来場者が相互に回遊できる(コンサートの観客が活け花展を見学するなど)」

「演劇では小規模なホールの方が声が通りやすい」

[大ホールを備えた新たな文化交流拠点施設の整備により可能となる文化団体の活動]

- ・市内の交響楽団と合唱団体の合同による第九コンサートの開催
- ・合唱祭において他の団体の合唱を聞くことができるようになる(自らのレベルアップや団体間の交流につながる)
- ・より多くの観客を集めたコンサートが可能となる(文化芸術に関わる市民のすそ野の拡大につながる)
- ・50号~100号サイズの絵画も展示する展覧会の開催

5. 新たな文化交流拠点施設で重視する条件

新たな文化交流拠点施設の整備にあたり重視する条件は、交通利便性とする回答が多かった。

・新たな文化交流拠点施設の整備で重視する条件は、「十分な駐車場を確保できる場所」と「公共交通の便の良い場所（駅やバス停から近い）」がそれぞれ 89.1%と最も高くなっている。

ヒアリングでの意見

「鳥の博物館や水の館、文化遺産の周辺に新たな文化交流拠点施設を整備することにより、この地域が文化地区になることが望ましい」

6. 市と連携・協働できそうな取り組み

新たな文化交流拠点施設の運営等において、市と連携・協働できそうな取り組みについては、協力できるとした団体は 11 団体で、内訳では「イベント開催時の参加」が 6 団体、「イベント開催の企画」が 5 団体、「運営協力」が 4 団体となった。

ヒアリングでの意見

「文化団体では病院や地域イベントでの出張コンサートを行っているほか、団員が文化芸術活動に取り組むこと自体が健康の維持・増進やコミュニティづくり等につながっている」

7. にぎわいを生み出すために必要なこと

新たな文化交流拠点施設がいつも人々でにぎわうようにするために必要なことは「高い交通利便性」が 11 団体と最も多く、以下「多目的の施設とする」、「飲食店の近隣に立地又は併設」(ともに 8 団体)「十分な駐車場」(7 団体)「商業施設の近隣に立地又は併設」(5 団体)などとなった。

ヒアリングでの意見

「にぎわいを生み出すためには駐車場を整備するほか、しゃれたレストランやカフェを設置すべきである」

「手賀沼周辺に、駐車場やカフェ、レストランのほか、更衣室やロッカーといったスポーツをするために必要な施設を整備すれば人を集めることができると思う」

(2)我孫子市の観光に関するアンケート調査の結果

「我孫子市観光振興計画」(平成25年3月策定)の基礎データとして、市内における観光・レジャーの状況や観光資源に対する評価等について、20歳以上の市民2,000人を対象にした「市民調査」と、1都4県(東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県)在住の1,000人を対象にした「首都圏住民調査」を実施したところ、次のような結果となりました。「市民調査」・「首都圏住民調査」の詳細については、「我孫子市観光振興計画」を参照。

【市民調査結果の概要】

1. 観光資源の訪問・体験回数

市内の観光資源の訪問・体験回数を見ると、「1回以上(1回+2~4回+5~9回+10回以上)」の比率は、「手賀沼周辺」が85.8%で最も高く、以下「鳥」(67.1%)、「白樺派の拠点」(46.2%)、「あびこ農産物直売所あびこん」(44.1%)、「旧柴崎村の旧跡」(33.1%)となった。

2. 観光資源の満足度

観光資源の満足度を見ると、「満足(大変満足+やや満足)」の比率は、「手賀沼周辺」が67.1%で最も高く、以下「鳥」(55.5%)、「白樺派の拠点」(41.8%)、「旧柴崎村の旧跡」(36.4%)、「市民農園・農業体験イベント」(32.8%)となった。

3. 観光資源の要改善点

観光資源の要改善点(改善した方がよいと思うこと、あった方がよいと思うもの)を見ると、「手賀沼周辺」では「トイレ」(31.7%)や「休憩施設・スペース」(24.6%)、「飲食施設・設備」(21.4%)の比率が高い。

4. 我孫子市でやってみたいレジャー

我孫子市で「ウォーキング、ジョギング、サイクリング」、「ボート、カヌー、ヨット等の水上アクティビティ」、「農業体験」をやってみたいかたずねたところ、「そう思う(大いにそう思う+ややそう思う)」の比率は、「ウォーキング、ジョギング、サイクリング」が78.3%で最も高く、次いで「ボート、カヌー、ヨット等の水上アクティビティ」が37.3%、「農業体験」が35.3%となった。

5. あびこ農産物直売所あびこんに追加してほしい施設・サービス

あびこんに追加してほしい施設やサービスについて自由記入方式でたずねたところ、「品揃えの充実」が66件で最も多く、以下「飲食施設の設置」(34件)、「休憩場所の設置」(12件)、「店舗面積の拡大」(10件)などとなった。

6. 手賀沼周辺の農地・農業を活かした観光に期待すること

手賀沼周辺の農地・農業を活かした観光に期待することは、「直売所等の直接購入の場・施設の整備・拡充」が49.1%、「農家レストラン（地元食材使用）の整備」が47.8%と、この2つが突出して高くなった。

【首都圏住民調査結果の概要】

1. 我孫子市のイメージ

我孫子市のイメージを見ると、「手賀沼のあるまち」(77.3%)と「地下鉄千代田線の駅のあるまち」(61.7%)が最も高く、以下「鳥のまち」(28.3%)、「都心の近くで豊かな自然に親しめるまち」(22.6%)、「ゴルフ場のあるまち」(21.1%)、「旧白樺派の文人が住んでいたまち」(13.9%)となった。

2. 我孫子市への訪問目的

我孫子市を訪問したことがあると答えた人(48.7%)の訪問目的を見ると、「観光・レジャー」が45.4%と最も高く、以下「ショッピング」(32.0%)、「食事」(26.3%)、「ビジネス」(20.3%)となっている。

3. 興味のある観光資源

興味のある観光資源を見ると、「手賀沼周辺」が57.2%と最も高く、以下「手賀沼花火大会」(46.7%)、「鳥」(20.7%)となっている。

4. 我孫子市でやってみたいレジャー

我孫子市で「ウォーキング、ジョギング、サイクリング」、「ボート、カヌー、ヨット等の水上アクティビティ」、「農業体験」をやってみたいかたずねたところ、「そう思う(大いにそう思う+ややそう思う)」の比率は、「ウォーキング、ジョギング、サイクリング」が48.7%で最も高く、次いで「ボート、カヌー、ヨット等の水上アクティビティ」が35.6%、「農業体験」が24.8%となった。